

「エコプロダクツ2006」への出展およびシンポジウムの開催について 繚愴n球と私のためのエコスタイルフェア繚緩

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、12月14日(木)から16日(土)までの3日間、東京ビッグサイトで開催された「地球と私のためのエコスタイルフェア『エコプロダクツ2006』」に出展すると共に、当社が協賛するシンポジウムを開催しましたので、お知らせいたします。

今年で開催8回目となる「エコプロダクツ2006」は、500以上の企業・団体が出展し、環境にやさしいプロダクツ、サービス、コンセプトなどを紹介する国内最大級の展示会です。今年も幅広い層に亘る約15万人の来場者で賑わいました。

当社ブースでは、環境配慮型商品の展示のほか、寸劇や紙芝居などで当社の環境に対する姿勢を分かりやすく説明するプレゼンテーション、クイズ、ろうそくづくり体験プログラムなどを行いました。社会科見学に訪れた小学生からは「未来のエネルギーについて勉強になった。」、環境を専攻している大学生からは「地球温暖化に対するグローバルな取組みに驚いた。」との感想が寄せられました。

開催期間の3日間を通じて、当社のブースには昨年を大幅に上回る13,000人の来場者があり大盛況のうちに終了しました。

また、12月15日(金)には、当社が協賛する、第2回 女性が考えるエネルギーの未来シンポジウム、「“水素”は地球と生活をどう変える？」を開催し、フリーキャスターの草野満代氏による基調講演や、次世代エネルギーである水素についてのプレゼンテーション、パネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、女性パネリストを中心に、水素を使用した燃料電池に対する素朴な疑問、今後の私たちの暮らしにおける燃料電池の役割などについての活発な討論が交わされました。

当社グループは、経営理念の一つに「地球環境との調和」を掲げ、環境に配慮した技術、商品の開発を積極的に進めており、今後も様々な機会を通じて、当社の環境への取り組みについてご紹介してまいります。

以上



当社ブースの全景



ブース内で紙芝居に聴き入る来場者



ブース内でろうそく作りに参加する来場者